

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

平成28年02月19日

計画の名称	美作市における安全で快適な魅力ある水環境づくり（防災・安全）													
計画の期間	平成28年度 ～ 平成31年度（4年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	美作市													
計画の目標	計画的な長寿命化対策を行い、安全・安心、快適な生活環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		338	A	338	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H29末)	(H31末)
1	処理場における地震対策実施率を0%（H28）から100%（H31）へ増加させる			
	処理場における地震対策実施率	0%	100%	100%
	地震対策実施済み処理場数(箇所)／地震対策すべき処理場数(箇所)			
2	美作処理区における長寿命化計画策定率を0%（H28）から100%（H31）へ増加させる			
	美作処理区における長寿命化計画策定率	0%	100%	100%
	長寿命化計画策定済み管渠延長（km）／長寿命化計画策定すべき管渠延長（km）			
3	美作処理区における長寿命化対策実施率を0%（H28）から100%（H31）へ増加させる			
	美作処理区における長寿命化対策実施率	0%	50%	100%
	長寿命化対策実施済み管渠延長（km）／長寿命化計画策定済み管渠延長（km）			

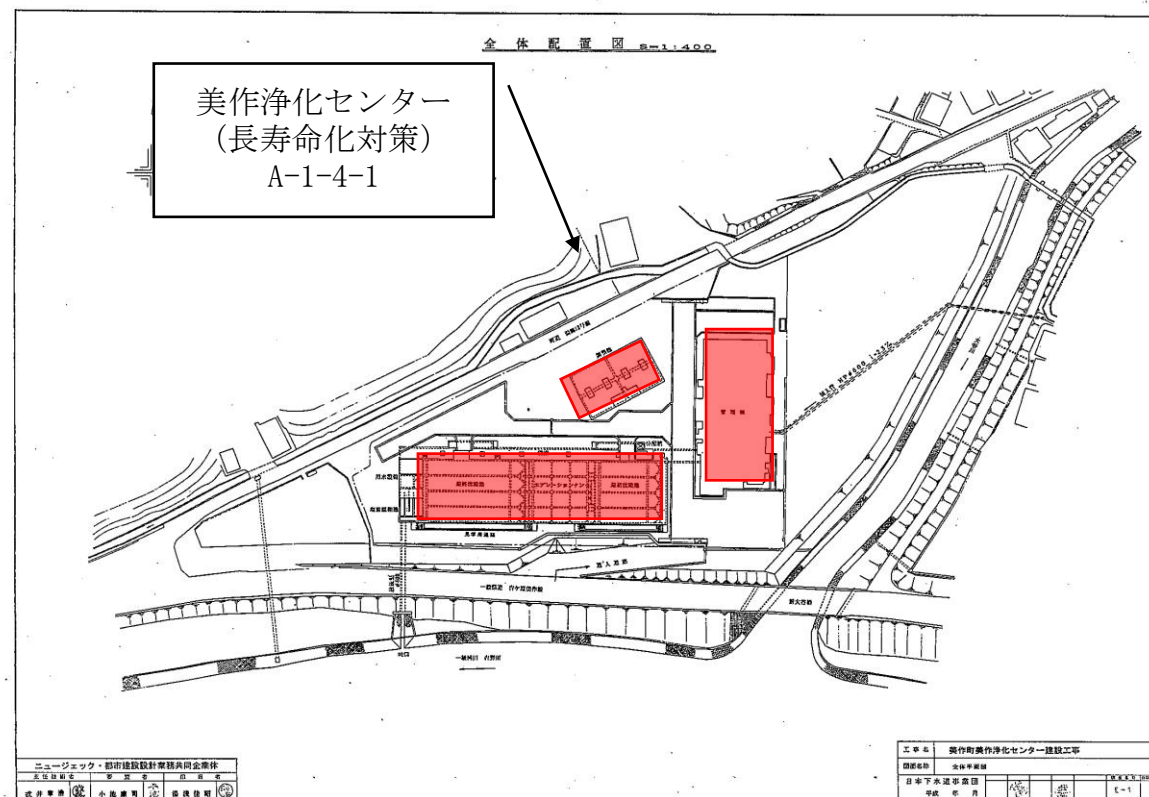
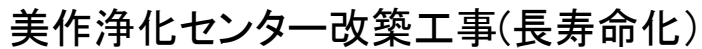
備考等					個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	☐	連携中枢都市圏を含む	☐

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	美作市	直接	一	終末処 理場	改築	美作浄化センター	地震対策(管理棟)	美作市	■	■				78	0	－
		地震対策																	
	A07-002	下水道	一般	美作市	直接	一	管渠（ 污水）	改築	美作処理区	長寿命化計画(管更生)策定・ 設計	美作市	■					23		－
		長寿命化																	
	A07-003	下水道	一般	美作市	直接	一	管渠（ 污水）	改築	美作処理区	長寿命化計画(管更生)工事	美作市		■	■			237		－
		長寿命化																	
											小計						338		
										合計						338			

交付金の執行状況

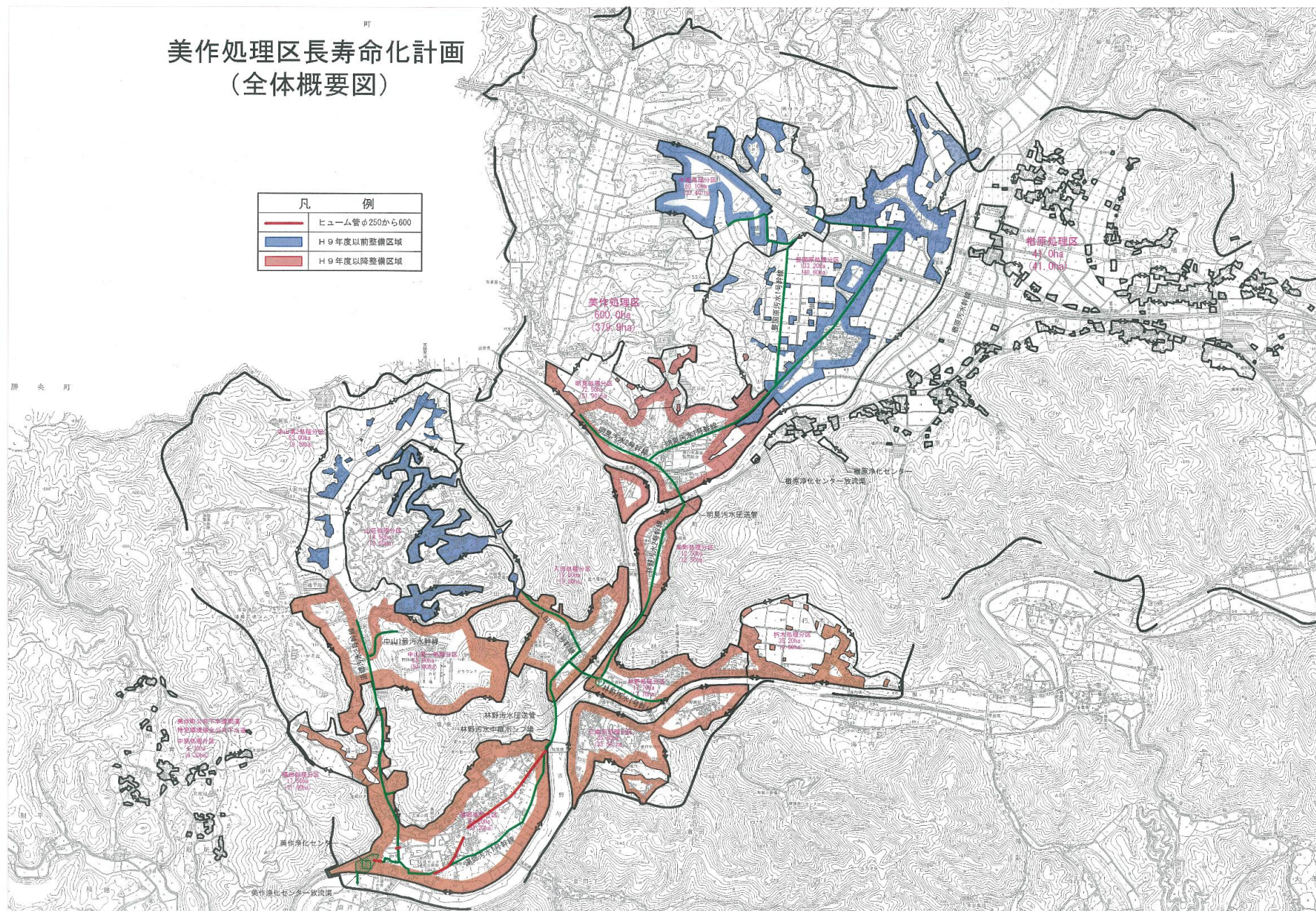
(単位：百万円)

	H28				
配分額 (a)	54				
計画別流用増△減額 (b)	△21				
交付額 (c=a+b)	33				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	32				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	1				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	3.03				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					



美作処理区長寿命化計画 (全体概要図)

凡 例	
	ヒューム管φ250から600
	H9年度以前整備区域
	H9年度以降整備区域



社会資本整備総合交付金チェックシート

(下 水 道 事 業)

計画の名称: 美作市における安全で快適な魅力ある水環境づくり(防災・安全)

事業主体名: 美作市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①個別処理との経済比較に関する上位計画等との適合	
1)都道府県構想(クリーンライフ100構想)に適合している。	○
2)これまで行ってきた、「下水道事業の整備効果向上を図るための事業の再点検(4つの点検)」の実施結果を反映している。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
2)下水道整備の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と下水道事業認可区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	—
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	—
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)計画および実施に関し、住民等に対する事前説明が行われている。	○
3)計画および実施に関し、住民等との間で合意が形成されている。	○

(○は適、×は不適、—は該当なし)